

広報



なかかさ

1994年
(平成6年)

11月号

№.460

毎月10日発行

●発行/中里村役場 〒949-84新潟県中魚沼郡中里村大字田沢己2133番地 ☎0257(63)3111 FAX(63)2044 ●編集/総務課



今月の主な企画

- 芸術祭・芸能祭……………②～③
- 中里村健康福祉フェア'94……………④～⑤
- ごはんて乾杯!……………⑥～⑦
- むらのあつちからこつちから……………⑧～⑫
- みんなの広場……………⑫
- お知らせ……………⑬
- 青春してます・カレンダー……………⑭

貝野小学校創立120周年!

「校庭のイチョウの木も、みんなで育てた菊の花も、グラウンドのポプラも、秋の光をうけて、輝やき、創立120周年を祝っています。祝っています。」と児童喜びのことばが、声高らかに響きました。

この広報紙は、再生紙を使っています。

第18回芸術祭

総合センターと保健センターを会場に「第18回芸術祭」が11月3日の文化の日から6日まで開催されました。書道、写真、絵画、生花、陶芸、短歌、手工芸等の力作が展示され、来場者もすばらしい作品にうなずいていました。

また、3日には中里老人クラブ連合会の菊・盆栽展や裏千家によるチャリティー茶会が行われたり、焼き物に挑戦している子供の姿も見られました。

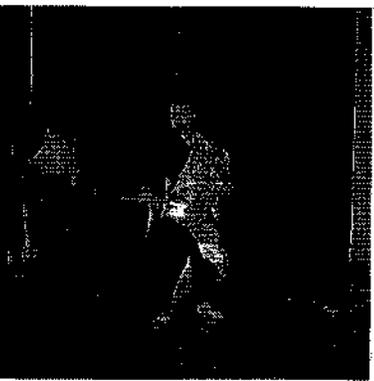
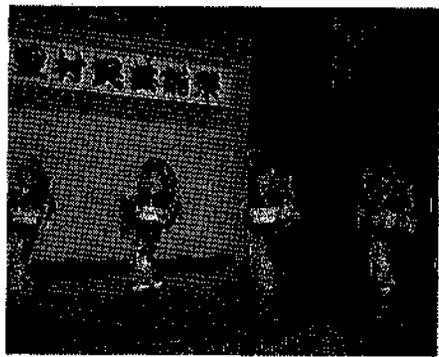


芸術、そして芸能に酔いしれました。

観客が酔いしれた芸能祭

ユーマールにおいて、「第15回芸能祭」が開催され、39の唄や踊りそして太鼓、ハーモニカ、オカリナなど、日頃の練習の成果が発表されました。

かなでる音にしなやかな姿、匂いたつ美しさ、味わいのある表情に約400人の観客が魅了され、あたたかい拍手をおくっていました。



中里村健康福祉フェア'94

- 健康で活力に富む村づくり
- 心豊かな、ふれあいの村づくり
- 地域福祉はみんなの力で
- 大事にしよう、小さな愛の思いやり

10月16日(日)、ユーマールにおいて「中里村健康福祉フェア'94」が開催されました。第一部の式典では、山本村長が「健康と福祉は生活の中で欠かすことのできないものであります。今日一日、皆さんと共に健康と福祉について考えてみたいと思います。」とあいさつを述べられたあと、表彰式に入りました。表彰は、むし歯のない子、健康家庭、献血功労者、ウェルカムベビー奨励金贈呈、社会福祉功労者、環境功労者の表彰が行われ、今年四月から制度が設けられたウェルカムベビー奨励金贈呈では、当日までに第3子が生まれたお母さん6人に山本村長より奨励金が手渡されました。

また、環境功労者として上山の江口竹治さんと芋川集落が環境美化に尽力された功績で住みよい郷土建設協会中里分会より表彰されました。

第二部は、歌手であり、保護司でもある千葉紘子先生が「母の手、愛の手、やさしい手」と題して講演を行いました。この他にも内科・歯科健康相談や販売コーナー、試食コーナー、健康づくりクイズコーナー、福祉機器展示コーナーなどが設けられ、おとすれた人は、一日中、健康と福祉にふれていました。



根津俊一	廣田浩司	富井潤	上原真嗣	富井愛
------	------	-----	------	-----

五歳児

山田沙季	渡邊あずさ	佐々木崇文	根津久枝	廣田梢	樋口健輔	吉楽健一	大口千賀子	渡邊雄大	瀧澤光	上原花織	山口正洋	山本典子	池田拓
------	-------	-------	------	-----	------	------	-------	------	-----	------	------	------	-----

◎むし歯のない子
三歳児



高野三枝子	村山千栄子	吉楽節子	高橋良美	船木伊美子	桑原昌子
-------	-------	------	------	-------	------

◎ウェルカムベビー奨励金

樋口芳成	高橋富夫	吉楽辰二	徳井祥市	大島正男	富井栄太郎	上原喜代一	山田幸夫	小林勲	山崎昭二	江口耕三
------	------	------	------	------	-------	-------	------	-----	------	------

◎国保健康家庭

◎環境功労者

(個人)	江口竹治
------	------

(団体)

芋川集落

◎環境功労者

南雲ノリ	白倉ノリ	羽鳥ヨネ
------	------	------

(個人)

あけぼの会

代表 村山シン

(団体)

ボランティア功労者

桑原リョウ	山田ハル	鈴木キノイ	南雲ブン	上原国江
-------	------	-------	------	------

◎社会福祉功労者
在宅優良介護者

広田公男	阿部利浩	斎喜洋子	樋口秀雄	上原修吉	高野よし子	桑原茂
------	------	------	------	------	-------	-----

三十回

杉谷清之	中島寿一	羽鳥敏之
------	------	------

◎献血功労者
五十回



健康ウォークに老人スポーツ大会も

健康福祉フェアの共催行事として、同日「村民健康ウォーク」と「老人スポーツ大会」が行われました。

村民健康ウォークには、六十人の方々が参加し、官中の黄桜の丘を起点に林道小沢東山線―林道打野線とおり、黄桜の丘に帰って来るコース約十二kmを歩きました。出発前には雨がぱつぱつあたる不安定な天候でしたが参加者の思いが通じたのか雨は何とか降らないですみました。そして、今回のウォークには、郵便局の簡易保険支援事業（かんば健康増進支援事業）のバックアップもいたっていて、参加者全員に万歩計が手渡され、思い思いのペースで歩きまわりました。「まだ紅葉には早かったですね、気持ちのいい一日を楽しみました。」という参加者の声が聞かれました。



また村民体育館で行われた老人スポーツ大会は、約三〇〇人の参加者が、缶ころがしゲームやピンつりゲームなど八種目の競技を行いました。
日頃、ゲートボール等で体を動かしているせいか、「若いもんには、まだ負けられん」とばかりにハッスルプレーをしていました。



「母の手、愛の手、やさしい手」



千葉 絃子

健康とって気になることは、食べ物、体を動かすこと、そして健康食品等が考えられますが、主に食べ物とが運動ではないでしょうか。

私は、もう一つあると思います。それは呼吸ではないでしょうか。生まれてから人間はずっと呼吸をしています。健康には呼吸も力加を握っているのではないのでしょうか。私は呼吸法をやっていますがここで皆さんも一緒にやってみましょう。まず足の先から吸いはじめ、ふくらはぎ、ももを通して丹田（おへその下）、背骨をそって上がり、肩甲骨、首の骨、頭のとっぺんの百会（ひゃくえ）というツボにいたったら丹田まで落してはき出します。丹田というのが大事で丹田は、気があつまる所といわれています。私たちは豊かな呼吸をするのを忘れてるのかも知れません。一日何回かやってみてください。それから、いい人生にするには、からだの健康そもそも一つこころの健康があるのではないのでしょうか。ささえている人がいなくなったとき、いろいろな行動を起こします。仕事柄、非行の子供たちと面接をしています。面接のとき「さちこ」ちゃんという子は、お父さんは成績のことばかり、お父さんの好きだったのは私ではなく、学校の成績が好きだったん

だと思ったそうです。大人は、明日解決したいと思いますが、子供となかなかかみ合わないところがあります。「非行は社会の検温計」と言われています。心の情緒が育つのは家庭からです。問題のある家庭は、親と子が本当の意味の心の交流、愛情交流、コミュニケーションが開ざされたときです。子供は親に愛されたいもの、ほめられたいものです。最後に施設の中の16歳の女の子の作文を紹介して終りにしたいと思います。タイトルは、「来年また行くからね」です。

お田さんお元気ですか。今どこにいますか。だれと一緒にですか。お田さんはあの時どういう気持ちで自殺を図ったのですか。もう少し待ってくれたらよかったです。せめておねえさんが中学校をあげるまで、そしたらおねえさんが相談相手になってくれたのに……

—— 中 略 ——

お田さんまさか私が少年院にいるとは思わなかったでしょう。ごめんさい。

私のお田さんに会いたい。お田さんの生きている姿が見たい。笑っている姿が見たい。台所に立っている姿が見たい。お田さん3年前に白いカーネーションを買って友達とお墓参りに行ったこと知ってる。天気の良い日でお墓の草むしりをしました。あのとき私はまだ12歳だった。

—— お田さん来年また行くからね ——

今年、春からの少雨、夏は連日の猛暑と水不足にみまわれ、農家の皆さんは農作物への水管理に大変苦労されたことと思います。

それでも冷害だった昨年に比べ、全体的には米の収穫量は増えます。おいしい魚沼コシヒカリが食べられそうです。

中魚沼では、昭和六十三年度から中魚沼米消費拡大推進連絡会（市町村及びJ.A・中魚沼農業改良普及センター）を組織し、米消費拡大と日本型食生活の推進に向けた取組みを行ってきました。その一貫として、今年も広報に特集を組んでみました。

昨年の米緊急輸入とガット・ウルグアイラウンド交渉により、外園米への関心が高まっています。そんな中、安全で身近なお米に目を向け、改めてお米のおいしさを噛み締めていただきたいと思います。

伝えてほしい！ 素朴な味と技術

今回推進連絡会のメンバーは、十日町市尾崎の小川キイさん、小黒沢の宮沢リツさんに教わりながら、笹だんご作りをしてきました。自然の味、郷土の味を大切に、手作り加工に励んできたお二人。慣れた手つきで、日頃からよく作っている様子が伺えます。私達がようやくすげの結び方を覚えると、いつの間にか、四十五個余りが出来ていました。ふかしたてでアツアツの笹だんごは、つやがあって、素朴な甘さで、美味しいものです。作ってみませんか。



【材料】

- もち米粉 四合
- うるち米粉 六合
- よもぎ（冷凍）七〇g
- 小豆あん 小豆 一升
- 砂糖 二kg
- すげ 笹の葉
- （笹だんごの葉）
- *だんごの固さによって、好みで入れる。（）
- （サクラ）
- *小豆あんのやわらかすぎる時に入れる。（）

すこやかライフ

欧米人も注目！ 日本型食生活

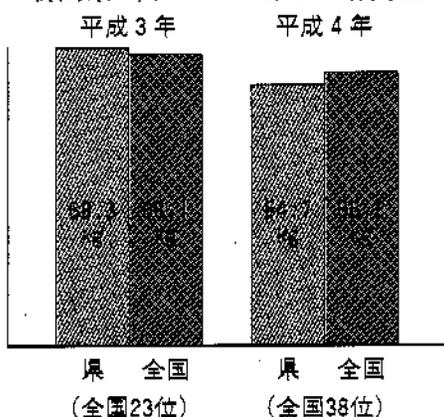
欧米において食べ方の偏りから、動脈硬化、心臓病や脳卒中、高血圧などの成人病や、肥満が多いことは知られていますが、そこで、食事のコントロールに関心が集まっています。炭水化物、脂肪、タンパク質のバランスを考えると、食生活では日本型が好ましいとされています。



日本型食生活のポイントは、「お米」を中心としていることです。代表的なメニュー「ごはんにお味噌汁、焼き魚に、煮もの、そして漬け物」のように、ごはんをとりまく数種類のおかずから、バランスよく栄養を摂取できるのです。ちょっと考えてみても、洋食の主食であるパンと比べて、ごはんは合うおかずはたくさんありますね。それに粉にした小麦からつくられる白いパンには少ない食物繊維もごはんの魅力です。また、お米のタンパク質は良質で、人体内では合成できない必須アミノ酸を含んでいるので貴重なのです。

これらの知識を得た健康食愛好家や、菜食主義者、働きざかりのビジネスマンで、欧米の和食レストランや寿司バーは、昼夜を問わずにぎわっています。海外でこのように高い評価を受けながら、当の日本では、食生活が多様化し、欧米型食事やインスタント食品の利用が定着したり、ごはんを食べると太るなどという誤解からか、お米の消費量は減少しています。平成4年には米どころ新潟県の一人当たりの値は、全国の平均を下回ってしまいました。（グラフ参照）

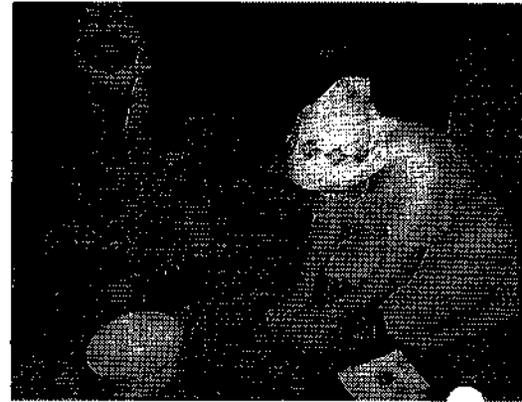
新潟県の米の一人当たり消費量



「お米」は日本の気候風土に適しているため全国でつくられ、食文化の主役としてこれまでもありました。ですから、日本人の体にも合っているのです。お米の良さ、日本型の食生活の良さを改めて考えてみて下さい。

【作り方】

- ①よもぎは茹でておき、茹で汁または、熱湯で米粉をこね、耳たぶ位の固さで一時間ねかす。
- ②もう一度こねかえし、一口大にちぎり、小豆あんを入れてまるめる。
- ③笹の葉三枚でくるみ、すげでしばって十分位蒸す。

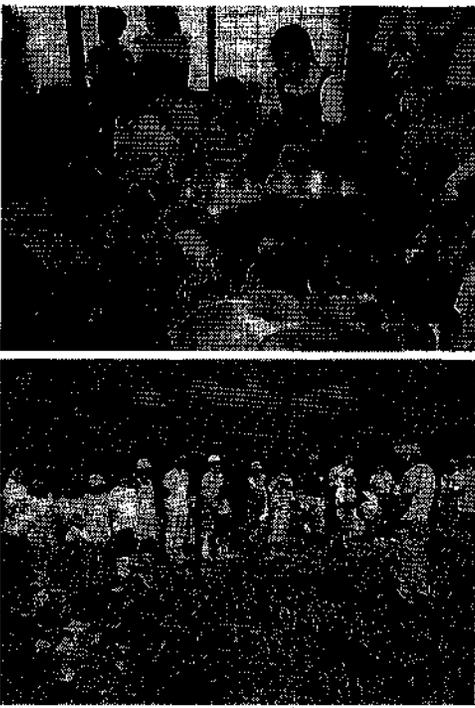


米消費拡大事業による親子米料理教室が、本年度は、宮中子供会の皆様のご協力でおこなわれました。

お米に関するスライドやクイズで日頃食べている「米」について、新ためて知ることも多く、新鮮な気持ちでおにぎり作りをしました。

そのあと、親子ニュー農業塾では清田山の山田さんのご協力で壮大な小松原開発畑での収穫体験。子供達は、農業の楽しさにふれられました。

すがすがしい青空の下で自分でにぎった地元コシヒカリのおにぎりの味は、また格別だったようです。



ごはんで乾杯!!



すこやかボーヤ

誤解していませんか？米米米

大人気！我が家の新メニュー

●おかわり／塩鮭のませずし

【材料】（4人分）

- 米 2カップ
- 水 2カップ
- *合わせ酢
- 酢 1/5カップ
- 塩 小さじ 2/3
- 砂糖 大さじ 2/3
- 鮭 2切れ
- きゅうり 2本
- 塩

【作り方】

- ①米を炊き、蒸らしたらおひつに移して合わせ酢を回しかけ、あおぎながら切るように混ぜ、人肌まで冷ます
- ②鮭を焼き、皮と骨をとってほぐす
- ③きゅうりの薄切りは塩でもんでさっと水洗いして水気をきる
- ④①②③と白ごまを混ぜる



●ぱりつとライスロール

【材料】（10本分）

- 残りこはん適宜
- 春巻きの皮 10枚
- むきえび 100g
- 豚もも肉 100g
- たけのこ 50g
- しいたけ 2枚
- *調味料
- しょうゆ 大さじ 1/2
- 酒 大さじ 1
- 砂糖 大さじ 2

【作り方】

- ①たけのこ・しいたけ・豚肉は細切り
- ②なべに油を熱し材料を炒め、調味料を加えて炒める
- ③残りこはんに②を混ぜ10等分にする
- ④春巻きの皮で③を包み水溶きの小麦粉で留めて、油で揚げる





むららの あつちがらこつちがら

スポーツの秋、いい汗流しました!!

●村民マラソン・ジョギング大会

十月十日の体育の日、「第十八回村民マラソン・ジョギング大会」が参加選手一二〇人で行われました。コースは2kmが中里中学校校門前から芋川新田折り返しコース、3kmが桔梗原折返しコース、5kmが芋川折り返しコースで行われました。

また、リレーマラソンでは一チーム三人で2kmコースをリレーする競技を行ないました。ゴールに入ってから来る選手は、苦しい表情でしたが完走した喜びの顔がすばらしかったです。

結果

★男子の部

2 km (小学生一・二年)

一位 吉 楽 和 也
二位 斎 喜 徳 和
三位 竹 藤 宏 幸

3 km (小学生三・四年)

一位 大 口 直 也
二位 桑 原 雄 樹
三位 樋 口 良 幸

★女子の部

2 km (小学生一・二年)

一位 富 井 利 行
二位 鈴 木 岳 史
三位 関 沢 学

5 km (中学生)

一位 大 島 康 太 郎
二位 吉 楽 正 巳
三位 山 本 勝 久

3 km (小学生五・六年)

一位 井ノ川 美津恵
二位 鈴 木 裕 子
三位 上 原 幸 子

★リレーの部 (2km×3人)

一位 高 橋 のぞみ
二位 鈴 木 沙 八 香
三位 富 井 智 子

3 km (一般)

一位 大 島 宏 之
二位 岡 村 勇 輝
三位 滝 沢 翔 太

2 km (一般)

一位 鈴 木 彩 香
二位 瀧 沢 かなえ
三位 山 田 詩 織

一位 井ノ川 一彦
二位 井ノ川 直元
三位 山田 豪

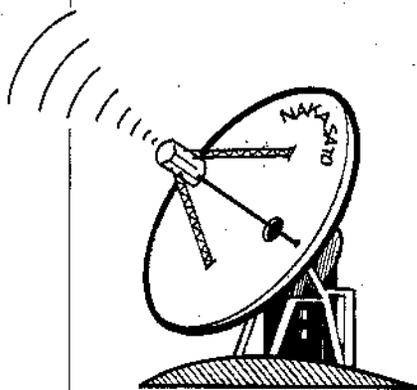
一位 斎藤 剛
二位 阿部 正樹
三位 富井 誠

一位 富井 由幸
二位 阿部 正樹
三位 山本 建

●中里剣道大会

十月十六日(日)、田沢小学校体育館において中里剣道大会が行なわれました。

試合が行なわれる前に先生による模範演技が行なわれ、選手全員が熱心に見入っていました。



試合は、東西対抗戦と個人戦が行なわれ、体育館内はメーン、ドオー、コテの音が響きわたっていました。対抗戦では西軍が勝利をおさめました。

個人戦の結果は次のとおりです。

結果

★小学生低学年の部

- 一位 清水 賢志
- 二位 小柳 美穂
- 三位 藤田 聖子

★小学生高学年男子の部

- 一位 服部 大輔
- 二位 樋口 勇気
- 三位 河田 拓斗

小学生高学年女子の部

- 一位 村山 千春
- 二位 関 幸恵



- 三位 村山 美幸
- ★中学生の部
- 一位 長井 秀幸
 - 二位 上原 郷司
 - 三位 村山 達章



●中里バスケットボール大会

中里バスケットボール大会が十月十六日(日)、中里中学校体育館で行なわれました。

出場チームは、男子が七チーム、女子が三チームで男子はトーナメント戦、女子はリーグ戦で試合を行ない、熱戦が繰り広げられました。

結果

★男子の部

- 一位 N B C (体協)
 - 二位 ラッキーズ (高校生)
 - 三位 マー軍団 (高校生)
- ★女子の部
- 一位 三倍 酢 (中学生)
 - 二位 二年生 (中学生)
 - 三位 一年生 (中学校)

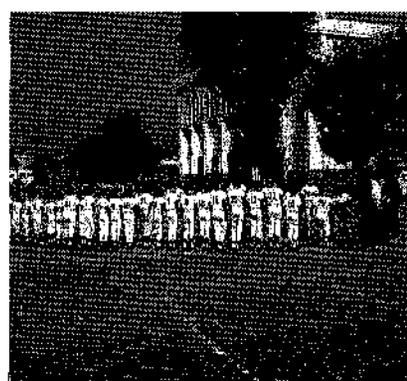
●野球大会

十月九日(日)、田沢小学校グラウンドにおいて中里村スポーツ少年団野球連盟会長杯野球大会が行われました。

当日は、晴天に恵まれ戦いも



- 熱がはいりましたが保護者の応援にも熱がはいっていました。決勝戦では、白熱した戦いとなり5回終了で同点。そして延長戦(ノーアウト、満塁からエキストライニングという特別ルール)の戦いとなり、みごと倉俣ファイターズが優勝しました。
- 一位 倉俣ファイターズ
 - 二位 田沢ジャニーズ
 - 三位 高道山フェニックス
 - 四位 貝野イーグルス



大きいさつまいもがいっぱいとれたよ!

十月十二日(日)、中里保育所で

さつまいも掘りが行われました。保育所前の畑を借りて作ったものでこの日は、まず最初にいものつるを全員で畑の外によせる作業に入りました。つるを取り除く際、ちよつと頭をだしたさつまいもに園児は大喜び。つるよりやつぱりさつまいもでし

た。

先生の「つるをかたづけしないと掘れないよ」の声に園児は再び一生懸命つるをかたづけしていました。

つるが畑の外にかたづけられいよいよ芋掘りの準備完了。先生の合図と共に園児の手が一斉に芋を掘りだし、「大きい芋があ

ったよ」「いくつも芋がくっついてるよ」など、園児の歓声が聞こえていました。自分たちで掘ったこの芋、おやつ時間に食べ、おいしかったかな……?



「ピッチ」ちゃん、やみならび



十月二十日(木)、倉俣小学校でやぎの「ピッチ」ちゃんのお別れ会が行なわれました。

ピッチちゃんは、今年の五月十八日、倉俣小学校の児童と倉俣保育所の園児に迎え入れ入学してから五カ月間、みんなと一緒に学校生活を過ごしてきました。

お別れ会では、児童三人が思いでの作文を披露し、また、児

童全員で歌と踊りをして別れを惜しんでいました。

お別れ会の最中に式次第が書かれた大洋紙をピッチちゃんが食べようとするハプニングもあったりしました。

最後に校長先生の「ピッチちゃんがどれだけ大きくなったか体重を計ってみましょう。みんなは何キロ位あるか当ててみてください。」と校長先生のおはな

しで、児童たちは、体重の予想を行ないました。

実際に計測を行なったら三十二kgありました。残念ながら入学式のときの体重は計測していなかったのですが、かなり大のかわかりませんが、かなり大きくなっていました。



貝野小学校創立百二十周年・中里中学校創立十周年

十月二十三日(日)、貝野小学校において創立百二十周年記念式典が行なわれました。

式典で実行委員長の柳英作さんが「先生と地域社会が一体となって初めて教育の成果が現われるもの。貝野小学校は皆さんが力を合わせてきた結果、ここに百二十周年を迎えることが出来ました。これからも力を合わせて地域と学校の発展に努めていきたい」と式辞を述べられ、その後、来賓の方々より祝辞を

いただきました。

児童喜びのことばでは、児童全員が掛け合いにより、創立から現在までの経過を言葉の中に取り入れ、「私たちは、やさしく、かしこく、元気よく、明日に向かって進みます。」といい、最後に百二十周年の母校をたたえ校歌を斉唱し、式典を終了しました。

また、十月二十九日(土)には、中里中学校創立十周年式典が行われ、実行委員長の高橋信雄さ

んが「里中も創立以来八一七名の卒業生を送り出しています。学業はもちろん、スポーツや吹奏楽などでその名を県下にとどろかせ、その実を上げてきました。校門に立つと九年間の軌跡をたたえ、十年目の奇跡を起こせと生徒のスローガンが目にとまっています。里中が大きく育って

来ていることを感じ、まことに頼もしく思います。」とあいさつを述べられ、次に来賓の方々より祝辞をいただきました。

また、生徒を代表して吉楽洋平くんが「九年間の軌跡をたたえ、十年目の奇跡を起こせをスローガンに今年度ががんばっています。九年間の伝統として、新座市・仲里村との交流、交通事故ゼロ三〇〇〇日達成、吹奏楽部の関東大会出場など数多くの軌跡が残されてきています。そして今年度は体育祭において聖火、文化祭においては、これまでの記録やあゆみを出すなど一人一人が主役であると思っていますが

んばっています。」と述べていました。そして、式典の最後にアトラクションとして文化祭の時に行った校内合唱コンクールで最優秀賞に輝いた三年一組、三年二組の生徒が合唱を行い、また、吹奏楽部の演奏も行われ十周年記念式典を終了しました。



多くのランナーが挑戦した23kmのスタート。号砲とともにランナーが飛び出した。

沖縄県

なかさとそん

仲里村発 ③

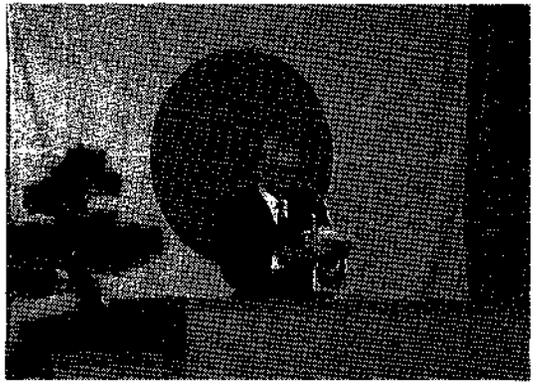


スポーツによる地域の活性化、そして、島民や参加者の親睦と融和を図ることを目的に、久米島の最大イベント「第6回ふれあいの里久米島一周マラソン大会」が、10月30日に盛大に行われました。

“FUN RUN”（楽しく走ろう）をスローガンに、日頃健康ランニングで体づくりを励んでいるビギナーからベテランまで、多くのランナーが挑戦しました。

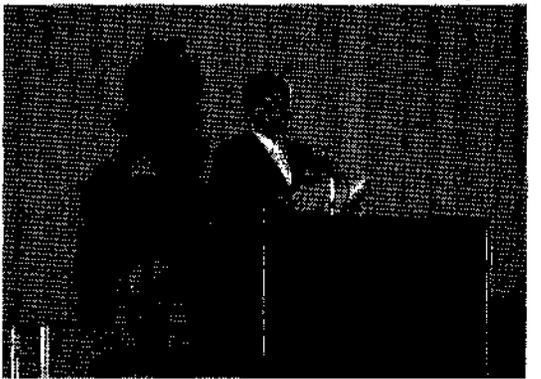
今大会には久米島一周（23km）10km、5kmの3コースに1,312人のランナーが、美しい景観を舞台に日頃鍛えた健脚を競いました。

今回、大会新記録1時間40分58秒で、23km女子を制した瀬戸口選手は「記録よりも、沿道の温かい声援がうれしかった。気持ちよく走れました。」と初優勝の喜びを語ってくれました。



貝野小学校百二十年のあゆみ

- 明治7年3月 貝野校創立（慈眼寺）
- 明治25年3月 貝野尋常小学校と称す
- 明治25年7月 新校舎が今の場所に完成
- 明治39年5月 貝野尋常高等小学校と称す
- 明治41年12月 阿寺冬期派出分教場開設
- 昭和16年4月 貝野村貝野国民学校と称す
- 昭和22年8月 貝野村貝野小学校と称す
- 昭和25年7月 校歌制定
- 昭和30年11月 校章制定
- 昭和35年11月 県下初めての小中合同給食開始
- 昭和38年4月 中里村立貝野小学校と称す
- 昭和46年3月 阿寺分校廃止
- 昭和54年4月 鉄筋三階建ての新校舎完成



国民年金 Q&A

Q

第3号被保険者になるにはどうすればいいですか？

第3号被保険者になれる？

みんなの ひろば

児童の作品



113

貝野小学校3年
南雲 翼くん

家の田んぼのいねかりをしたときのことをかきました。

おじいちゃんが、いつしようにけんめいにいねをかっている様子が分かるようにかきました。

わが家の主役

柳 夕陽くん(1歳)

114

英樹・奈美子さん夫妻の長男(田中)

おばあちゃんの作ってくれた大根煮とお魚の大好きな夕陽くんは、お田さん、おばあちゃんといつも一緒に元気よく遊んでいます。

おもちゃのバックホーでビー玉を積んで遊んだり、クレヨンで絵を書いて楽しく遊んでいます。

最近、音のでるものに興味があるらしく、ハンド掃除機をおもちゃの代わりにしているとか…?

きっと、お掃除のお手伝いをしてくれているんだよね。

長年の夢、ついにかなう!!

十月三十一日(月)、長年の間、夢にみてきた芝倉沢水路が完成し、竣工式を行いました。

この水路は、古くは弘化三年(西暦一八四三年)に道水の企画をし、その後慶応三年に更に明治七年より明治十四年までの七年間足尾沢より水路開鑿の踏査測量を実施して工事に着手したが予想以上の難工事と財源に恵まれず、中止のやむなきに至りました。

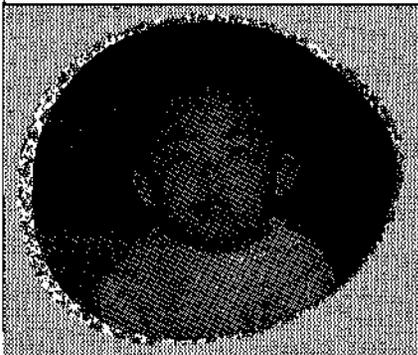
そして、戦後の昭和二十五年頃に農業施設にも国庫の補助と長期資金の融資の道が開かれたが先祖からの苦い体験にふんぎりがつきませんでした。しかし

昭和二十六年に部落民は立ち上がり、八月にいよいよ着工となり総工事費九百万円で第一期工事を西戸屋山より曲り沢まで、

第二期工事を曲り沢より滝の沢までとし、昭和二十六年から二十八年の三年間で滝の沢より取水の形が出来上がり昭和二十九年の春ようやく通水することが出来たが漏水がひどく曲り沢まで水が通る程度で非常に効率の悪い水路でした。更に水路を延長し事業費四百万円を上乗せし、芝倉沢水路は昭和三十一年九月に竣工となりました。しかし土側溝のため土砂や流木の流入等に苦しみ維持管理には多く

の人力と多額の出費に苦勞をました。

そして、昭和五十五年のために池等整備事業(土砂崩壊防止)を新潟県一号として認可され継続事業として十五年の歳月と第一次から第十八次に及ぶ三億七千万円を投じ、水路の完全舗装が出来あがった。弘化三年の約百五十年前より先祖が夢に見た水路がここに完成しました。今年のような異常気象にもかかわらず日本一うまいコシヒカリは大豊作になりました。



11月10日～11月26日
カレンダー

10(木)	
11(金)	心配ごと相談(山田虎一) ☐デイサービスセンター ☎13:00～16:00
12(土)	
13(日)	中里バレーボール大会 ☐村民体育館 ☎8:30～
14(月)	乳児健診 ☐保健センター ☎13:00～13:30受付
15(火)	2歳児健診(歯科) ☐保健センター ☎13:00～13:30受付 成人講座 ☐総合センター ☎19:30～21:30
16(水)	ツペリクリン検査 ☐保健センター ☎14:00～15:00受付 パソコン教室 ☐中里中学校 ☎19:30～21:30
17(木)	みのり学園 ☐総合センター ☎9:40～
18(金)	ツペリクリン判定及びBCG ☐保健センター ☎14:00～15:00受付 妊婦健診・母親学級 ☐上村病院産婦人科 ☎13:00～13:30受付 心配ごと相談(村山篤稔) ☐デイサービスセンター ☎13:00～16:00
19(土)	
20(日)	中里ユニホッケー大会 ☐村民体育館 ☎8:30～
21(月)	
22(火)	
23(水)	勤労感謝の日
24(木)	パソコン教室 ☐中里中学校 ☎19:30～21:30
25(金)	心配ごと相談(山本ケン) ☐デイサービスセンター ☎13:00～16:00 行政相談 ☐老人福祉センター ☎13:00～16:00
26(土)	

太島貴子さん

集落 芋沢
昭和49年8月20日生まれ 20歳
星座 獅子座
血液型 A型
身長 158cm

貴子さんは、現在自営の太島工業で事務をとっている傍ら午後からは、十日町でコンピューターを学んでいる彼女です。

ドライブの好きな貴子さんは、休みの日は、友達と一緒にあちらこちらと出かけているとのこと。

そして、カラオケが大好き彼女は、「友達を誘ってカラオケボックスに結構足を運んでいるので機会があったら誰か一緒に行きましよう。」と話してくれました。

青春してます



休日救急医

	大熊内科医院	☎52-7066 (十日町市)
	津南病院	☎65-3161 (津南町)
	長山医院	☎66-2877 (津南町)
	中条医院	☎57-3018 (十日町市)
	鹿野医院	☎52-2711 (十日町市)

山々が紅や黄色に色付き紅葉つ盛りとなりました。今年の紅葉は遅かったように感じられます。

さて、十一月に入り、寒い日が続くようになりましたが皆さんの家庭でも、もうストーブを使用していることと思います。十一月九日から十五

日まで秋の全国火災予防運動が行われています。

これからの季節は火の使用が多くなつてきます。何もかも無くしてしまふ火災だけは起こさないよう十分注意しましょう。

パイラプゆうちゃん



短編集



スギ



ユリ

(昭和60年7月25日制定)

1. 自然を愛し美しい村をつくります。
1. 健康で働き明るい村をつくります。
1. 愛情を豊かにし心あたたかい村をつくります。
1. 教養を深め文化のたけ高い村をつくります。
1. 創意をこらし活力ある村をつくります。

●交通事故件数	21件
●死者	0人
●傷者	28人
●死亡事故ゼロ	718日

村の人口

10月末現在
()は前月比

●人口 男3,354人(+7) 女3,369人(+8) 計6,723人(+15) ●世帯数1,641(-1)